

卸・小売
身知
正パ

株式会社 文真堂書店

企業が歩み寄ることから始まる障害者雇用



■事業所データ

設立 1952年(昭和27年)
常用労働者数 372人
代表者 代表取締役社長 星野 洋一
所在地 〒370-0004 群馬県高崎市 井野町682-1

TEL:027-364-9000
URL:www.bunshindo.jp



■会社概要

群馬県内を中心に文真堂書店・タイムクリップ・ブックマンズアカデミーなどの複合書店・専門書店を展開しています。

■障害のある社員の雇用状況

障害のある社員数 11人
うち重度障害のある社員数 7人

区分	身体	知的	精神
正社員	1人		
契約社員			
パート	3人	7人	
アルバイト			

事業内容

株式会社文真堂書店は、昭和27年に最初の店舗として前橋市に文真堂書店を開店しました。以降、群馬県を中心に、タイムクリップやブックマンズアカデミーなどの複合書店・専門書店を多数展開し、本・CD・文房具・雑貨・玩具などの販売や、DVD・CDのレンタルを行っています。地域と密着した店舗づくりを進め、幅広い「ホビー&カルチャー」を提供しています。



障害のある社員の業務内容

- ・清掃業務
- ・検品業務
- ・データ入力業務
- ・品出し業務



障害者雇用を検討される事業所のみなさまへ

障害の特性を知り、丁寧に指導をすることが大切だと思います



人事課 課長
桑原 潤さん

障害のある方のことを知る

障害者雇用には二の足を踏んでしまう企業の大多数が、「障害のある方の特性などを知らない」ことを理由に挙げているのではないかと思います。そのため、支援機関などが開催する企業向けセミナーに参加する、障害のある方を実習で受け入れるなど、企業側から障害のある方を知る努力をすることにより、障害のある方に対する思い込みがあったことに気付くと思います。

まずはやらせてみる

障害のある社員は仕事ができないと最初から判断するのではなく、どのような仕事でも、まずはやらせてみるのが大事だと思います。障害のない社員に比べ、仕事を覚えるまでには時間がかかるかもしれませんが、一つ覚えることにより、「他の仕事も覚えたい」と仕事に対する意欲も向上し、仕事の幅を広げることができるため、会社の戦力になってくれると思います。

社員の1日のスケジュール

障害のある社員11名のうち、知的障害のある武井さんの仕事の様子を紹介します。

- 10:00 ● 出社
朝礼を行い、1日の業務や連絡事項などを確認します。
- 10:05 ● 作業開始
店舗内と駐車場の清掃を行います。お客様が気持ちよく来店できるように丁寧に作業を進めていきます。
- 12:00 ● 昼食
休憩室でみんなと一緒に談笑しながら昼食をとりまします。
- 13:00 ● 作業再開
店舗に入荷した商品の検品作業を行います。この作業で見つけれなかった不良品は、そのままお客様の手に渡ってしまうため、念入りに作業を行います。
- 17:00 ● 退社
日報を提出して退社します。



■検品業務
店舗に入荷した商品を検品し、破損や欠品などがなければ確認をします。



■清掃業務
お客様が気持ちよく入店できるよう、入念に店舗の清掃を行います。



■その他軽作業
他の社員のフォローとして、軽作業を行うこともあります。(写真はトイレトイレットペーパーに店舗名を押し印しているところ)

雇用の際しての取り組み

各店舗への訪問

障害のある社員を店舗に配属した当初は、店舗の社員に心を開かず、仕事に困っても相談ができずに、自分の中に不安を抱えてしまうことがあります。そのため、面接を担当した人事担当者が、障害のある社員の勤務する店舗を訪問し、現状に不満や不安がないかなど、ヒアリングを行っています。また、必要に応じて店舗の担当者や支援機関などと打ち合わせを行い、働きやすい環境整備を心掛けています。



モチベーションを維持する

採用前の実習では、まじめに業務に取り組んでいるのですが、採用後、人によっては実習時と同じ業務を毎日行うことに飽きてしまい、モチベーションが下がってしまうこともあります。そのため、採用前後で同じ業務を任せるとしても、効率が良くなるようにアドバイスをし、新しい業務を任せるといったように、職場の中に「発見」をもたらすことにより、障害のある社員のモチベーションを保てるように心がけています。



社員の声



武井 孝枝さん
(入社:平成16年12月)

これからも今の職場でがんばりたいです

- ・仕事内容
店舗の清掃・商品の検品・他の社員のサポートなどを担当しています。また、仕事を通じて、本や玩具、映画やCDなどの新商品をいち早く知ることができるのも、仕事をしていて楽しいことの一つです。
- ・仕事に対する思い
今年で勤続11年目になり、ほとんどの業務を一人でもできるようになりました。入社当初から気を付けていることは、仕事には常にメモを持ち歩き、分からないことや、新たに教えてもらったことはメモを取り、分からない時にはそのメモを確認しながら仕事をしています。今後は商品のラッピングを覚えるなど、自分のできる仕事をさらに増やしていくことが目標です。
- ・就職を考えている障害のある方へ
就職を考えている障害のある方はたくさんいると思います。しかし、自分だけで就職活動を続けるのは難しく、就職に結びつくことが少ないため、周りの人や支援機関のサポートが必要だと思います。まずは支援機関などに「自分が何をしたいか」などを相談することから始めてみるのが良いと思います。

現場の変化

障害のある社員の得意なこと、苦手なことに気付いた際には、現場の社員間で情報を共有し、必要に応じて対策をとるように現場に指示を出しています。この取り組みにより、障害のある方を雇用する前よりも、社員間のコミュニケーションが増え、現場の雰囲気も良くなり、全員で障害のある社員をフォローする環境が形成されたのではないかと考えています。



障害のある方のペースに合わせて教育をする

障害のある社員に仕事を教える場合には、一度教えただけでは、理解しきれないこともあるため、できるようになるまで繰り返し何度も教えています。最初はできなくても、業務に取り組んでもらう中で少しずつ成長し、必ずできるようになってくれます。また、彼らの理解度に合わせて、任せる仕事量を増やすことにより、最終的には複数の仕事を任せられるまでに成長してくれます。

